

平成 24 年度事業計画

1 茶文化の提案及び普及（公益目的事業 1）

ア 茶文化セミナー、講演会等の開催

(ア) 茶文化セミナーの開催

お茶の文化を普及するため、市町等と連携してセミナーを開催する。

内 容	時 期	備 考
日本の茶、世界のお茶 お茶の効能 など	通年	県、市町と連携し、県内各地（東部、中部、西部）で開催

(イ) 日本茶に絞った外国語基礎講座の実施

静岡県・浙江省友好提携 30 周年に向け、平成 23 年度は、中国の方々に日本茶の楽しみ方を中国語で説明する「日本茶に絞った中国語基礎講座」を実施した。来る静岡県・浙江省 2012 緑茶博覧会において、数人の受講生の活躍が期待される。

今年度は、アメリカを含め英語圏において、日本茶の楽しみ方を英語で PR するための、日本茶に絞った英語基礎講座を実施する。

内 容	時 期	備 考
日本茶の種類と特色 日本茶の淹れ方 主な成分と効能 など	全6回	平成 23 年度実績 中国語 平成 24 年度 英語

イ 緑茶に関する情報誌（「緑茶通信」）の発行

お茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行する。

発行時期	主要テーマ	発行部数
平成 24 年 9 月	31 号 (仮) 日本と中国の茶のつながり	1,200 部
平成 25 年 3 月	32 号 未定	1,200 部

ウ 静岡茶体験コーナーの運営

(ア) しずおか O-CHA プラザの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおか O-CHA プラザ」において、日替わりで県内主要産地のお茶を使用し、来場者に日本茶インストラクターがおいしいお茶の淹れ方の指導を実施。

お茶に関する各種展示、書籍等資料の配架を行う。

<しずおか茶体験コーナー概要>

開 場 時 間	月曜～金曜 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
場 所・規 模	水の森ビル 3 階 65 m <sup>2</sup> 15 席

<展示内容>

お茶の新商品 世界緑茶コンテスト入賞茶 世界のお茶 茶の風景写真など

(イ) 季節に応じたミニ講座の開催

一般県民に対し、茶王国静岡ならではのテーマによる県内主要産地のお茶を使ってのミニ講座を実施し、おしゃれで楽しいお茶の楽しみ方の体験指導を行う。

<ミニ講座のテーマ(予定)>

- 浙江省友好提携 30 周年記念日本茶と中国茶の楽しみ方(4 月上～4 月下)
- 新茶を味わう(5 月上～6 月中)
- 冷茶を楽しむ(6 月下～7 月下)
- 夏休み親子で楽しむお茶講座(8 月上～下)
- お茶の香りを楽しむ(8 月下～9 月中)
- 品種茶の飲み比べ(9 月下～11 月上)
- 熟成茶と玉露を味わう(11 月中～12 月下)
- 入賞茶を楽しむ(1 月上～2 月上)
- お茶とスイーツでティータイム(2 月中～3 月下)

エ 富士山静岡空港呈茶コーナーの運営

富士山静岡空港公的利活用スペースの「呈茶コーナー」の運営企画を静岡県から受託。県内各茶産地と協力し、空港利用者をおいしいお茶でもてなす。

<富士山静岡空港「呈茶コーナー」の概要>

場 所	富士山静岡空港ターミナルビル 2 階出発ロビー 公的利活用スペース内
規 模	カウンター席 7 席
サービス 内 容	来場者への静岡県産の茶の呈茶 呈茶する茶や県内茶産地の説明 茶に関する質疑に対する応答
開場時間	毎日 午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分

## 2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

### ア 静岡県・浙江省 2012 緑茶博覧会文化プログラムの企画・運営

静岡県・浙江省友好提携 30 周年を迎え、両県省とも国内有数の茶産地であることから、静岡県・浙江省 2012 緑茶博覧会の文化交流コーナーにおいて、茶文化に馴染みの深い杭州市民に対し、平成 23 年度の日本茶に絞った中国語基礎講座の受講生の協力を得て、おいしい静岡茶の楽しみ方を提案する。

### イ 日本茶の輸出促進

#### (ア) 日本茶輸出セミナーの開催

輸出に関する情報提供や情報交換を行う。

開催日時	24 年 9 月、25 年 1 月
内 容	アメリカ食品安全強化法への対応 日本茶輸出における課題と対策 (協力:ジェトロ、SIBAなど)

#### (イ) 国際的な見本市への参加

国際的な食品見本市やイベント等へ参加し、日本茶を楽しむ文化を紹介するとともに、安全性のアピール、緑茶の機能性のPRを行うとともに、輸出拡大に関心の高い茶業者の出展を支援する。

開催地	アメリカ	アジア(未定)	国内
開催日時	24 年 6 月	24 年秋	未定
名 称・ 開催場所	World Tea Expo ラスベガス	未定	未定

### ウ 世界への情報の発信と集積

#### (ア) O-CHA ネット等の活用

茶に関する情報の集積と発信を行う

内 容	発信手段
<ul style="list-style-type: none"> <li>世界的にお茶に関するニュースや生産・消費などの状況</li> <li>国際的な見本市や旬のイベントに関する情報</li> <li>お茶の機能・効能に関する研究成果情報 など</li> </ul>	世界緑茶協会ホームページ「O-CHA ネット」 (アクセス数 月平均 93,300 件) 賛助会員向けメールマガジン (1 回/月程度)

#### (イ) 世界とのネットワーク形成

茶に関する国際会議等へ参加し、各国の関連団体との交流を行う。

茶に関する国際会議への参加	ISO(国際標準化機構)での茶の規格・定義等の協議へ参画するとともに、2013 年に ISO の茶に関する国際会議を本県で開催するための準備、調整を行う。
各国の茶関連団体との交流、情報交換	International Tea committee(イギリス)、全米茶業協会、中国茶葉流通協会、中国国際茶文化研究会などとの交流により、情報収集と発信を行う。

## エ 世界緑茶コンテストの開催

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案してもらうコンテストを開催する。

目標出品点数	100点(うち海外30点)
募集期間	平成24年4月～7月
審査会	平成24年8月 島田市お茶の郷博物館 (審査員) 茶研究者、流通業者、マーケティング研究者、デザイナー
入賞茶の展示,PR	・各種イベントや食品見本市等にて展示、PRを行う ・ホームページ「O-CHA ネット」に掲載する

また、2012 国際名茶評比の開催にあたり、日本からの出品取りまとめとともに、審査員として参加する。

## オ O-CHAパイオニア顕彰

茶に係わる優れた学術研究や緑茶の振興及び発展に寄与した産業技術、緑茶生活文化の提案や消費拡大等の優れた成果を顕彰する。

(ア)表彰の区分

部門	内容
学術研究大賞	茶に係る優れた学術研究成果
新技術・新商品開発大賞	茶の生産や消費に関する革新的技術や新商品開発
文化・芸術大賞	茶に関する文化及び美術等の芸術に関する活動
CHALLENGE 賞	今後の成果が期待される独創的な取り組み
O-CHA特別賞	その他の優れた取り組み

(イ)審査会:平成24年8月

(ウ)表彰式:平成24年11月

## カ 世界緑茶会議開催準備等

「世界緑茶会議2013(仮称)」の開催に向けた企画、準備を行う。

## 3 ホームページバナー広告(収益事業)

O-CHANETは、1か月平均93,300件のアクセスがあるお茶の総合情報サイトであり、お茶関連業者(当協会会員)へのバナー広告掲載を勧めることにより、当協会HPを中心としたネットワークの構築をすすめる。